



A-Paradise 2018 Report

平成30年度 A-Paradise 報告書

Contents

2018(平成30年度)活動概要	P1
A-Paradise 2018	P2
事前ワークショップ	P5
「はぎれで衣装を作ろう!! WS」	8月8日(水)
「柳町通りの魅力を探そう!! フリーペーパー作成WS」	8月9日(木)・10日(金)
「柳町通りを踊る。舞踏(Butoh) WS」	8月12日(日)～9月1日(土)※全5回
「まちを彩るねぶたの天の川を作ろう! WS」	8月18日(土)・19日(日)
イベント前日～当日	P7
商店街主催イベントへの参画=「Star light JAZZ 2018」への装飾	9月1日(土)
「A-Paradise2018」開催	9月2日(日)
冬のA-Paradise 2018	P10
2月9日(土)～11日(月・祝)	
スタッフ・協力・協賛	P16

Who are A-Paradise?

A-Paradiseとは?

青森市が毎年秋に青森市ベイエリアから商店街にかけての
一帯で開催しているアートと音楽のイベントです。
平成26年度から地域の若い世代をメインに実行委員会を
組織し、企画・運営・開催を行ってきました。
今年度は、文化イベント等の一体的かつ効果的な実施を目
的に、青森市における質の高い、独自の文化芸術の創造を
推進する「あomoríアーツカウンスル」へ統合し、その一部
会として活動しています。
誰もがもっと気軽にアートと音楽に親しめるフィールドづく
りを目指しています。
「A-Paradise」の「A」はAOMORIの「A」、ARTの「A」、
情報を発信する電波塔のようなイメージの「A」を意味して
おり、「Paradise」は楽しい、賑やかなイメージを表現して
います。

ごあいさつ

5年目を迎えることができたA-Paradise。今回も「エーパラらしさ」の溢れる企画を打ち出すことが
でき、確実に進化する内容に手ごたえを感じているところです。ひとくちに「らしさ」と言っても様々な要
素があるのですが、それは次頁以降、ご紹介していきます。

毎度私が申し上げているのが、街は人であり、人は街だということ。芸術を種にして、土地に芽吹く文
化という花は、人を集め、街を創ります。今回は秋・冬と2つのエーパラをお届けしました。そのどちらで
も、集い、創り、楽しむ様子が見られ、私自身も楽しい気持ちで運営することができました。

小さな花かもしれないけれど、大切に育てていけばきっと大きな木になる。大きな木はやがて雲を突
き抜けて、夜空に光る星に届くーちょっとロマンチックになってしまいましたが、「星」をテーマにデザイ
ンした2018。あなたはあの星に、どんな願いを込めま…あっ!今流れた!

あomoríアーツカウンスル A-Paradise 部会
部会長 高谷 憲

A-Paradise 2018 Overview

平成30年度活動概要

若い世代を中心とした市民参加型による文化芸術創造都市づくりを目指すため、今年度は以下のように取り組みました。

A-Paradise2018 ③つの取り組み

①

ボランティア人材 発掘とブラッシュアップ

- ★ A-Paradiseメンバーの技術を持ち寄り、プランを立体化する力を育て合う
- ★ 幅広いジャンルや興味のミックスによって地域と時代に沿った内容を生み出す
- ★ ステージ出演やワークショップ参加をきっかけに次世代を活動に取り込む

絵画、造形、デザインなどのクリエイターや、演劇、音楽に関わるパフォーマーが主な構成人員となるA-Paradise。それぞれのメンバーのスキルや興味を持ち寄り準備した9月の「A-Paradise2018」は、アート・クラフト・音楽・舞踏などが一日いっぱい楽しめるフェスティバルとなりました(動員数1,051名)。事前ワークショップには高校の美術部の生徒や専門学校生などが参加し、「A-Paradise2018」当日のボランティアとして大学生の参加や、高校生のステージ出演もあり、A-Paradiseの活動を次世代へつなぐ一端となりました。

2月に青森市役所駅前庁舎で開催した「冬のA-Paradise」では、メンバーが主体となって会場および企画プランの作成と当日運営までを行ない、版画・漫画・川柳などをミックスした新しい地域カルチャーの場を創造することができました。

②

クリエイターや教育者 地域人材の活用と伝達

- ★ 青森で活動しているクリエイターや団体のひとつの活動の場として機能する
- ★ 一般公募のワークショップにより幅広く市民に伝達していく
- ★ 長年地域で活動してきた表現者とA-Paradise世代のコラボレーションによる新感覚のモノ創り

例年とは異なり、ワークショップを秋のイベントの準備を兼ねて一般公募にて開催いたしました。クロージングパフォーマンスを担った参加者への指導と演出は舞踏家福士正一さんが、その衣装作りのためのワークショップ指導は青森中央文化専門学校のトータルファッション科主任教諭 曾我武さんが担当。イベントの舞台となる柳町商店街のステージやアーケードを飾る約40個の星型ねぶたは、青森県内の高校で美術を教える工藤友哉さんの導きにより、小学生からシニア世代まで共に作り上げました。青森市と協定を結ぶ京都造形芸術大学 准教授 酒井洋輔さんが来青し、参加者と柳町通りを歩いて取材したフリーペーパーは、「A-Paradise2018」当日に来場者に配られました。また青森サブカル倶楽部など青森市で活動中の若手アーティスト達によるライブペインティング、クラフト作品の販売は、来場した市民・観光客にも喜ばれ、秋の青森の街の風景を彩りました。

2月に開催した「冬のA-Paradise」では、国際芸術センター青森のご協力や、青森で制作活動を行なう版画家 竹林嘉子さんによるご指導をいただきました。

③

地域活性化 商店街との連携による 創作環境づくりの可能性追求

- ★ 商店街の音楽フェスティバルとの連携による相乗効果を生み出す
- ★ 新中央埠頭クルーズ客船寄港日に合わせた開催
- ★ 駅前に芸術活動の場を設けることで近隣商店街への経済効果を図る

秋の「A-Paradise2018」の発端は、既存の商店街主催ジャズフェスティバルとの連携の案が、部長と柳町商店街理事長の間で生まれたことです。「Star light JAZZ」は柳町商店街主催で9月に毎年行われていて、その次の日に同じ特設ステージを利用し「A-Paradise2018」を開催し、客層の融合やジャンルの多様化に対応する形で、柳町に連日、音楽が溢れることとなりました。

9月2日は、柳町通りからすぐ北側の新中央埠頭にクルーズ客船が寄港する日であり、市内を回遊する観光客をお迎えする意味あり、新しい青森の玄関口の賑わいを創出しました。

2月に開催した「冬のA-Paradise」会場となったアウガ(青森市役所駅前庁舎)では、市役所や市場に用事を足してきた市民および観光客が、ライブペインティングやカフェ出店を目にし、気軽に参加できる創作活動の場となりました。



「A-Paradise 2018ポスター」 design by 村井香穂 (PINTTO)

A-Paradise 2018

A-Paradise 2018

イベント概要

- 📅 9月2日(日) 10:00~20:00
- 📍 やなぎまち東側特設ステージおよび周辺
- 👤 観客動員数1,051名



9月2日(日)、心配だった天気は大快晴!これなら星も見えるかも。そんなA-Paradise2018は、大学生バンド「スピリタス」の爽やかなロックから始まりました。会場北側にはメインステージ、南側にはサブステージを設けることで転換時間の短縮を図り、延べ20組の出演が実現。南北のステージに挟まれる形で配置された出展ブースでは、「café oink」「Be on space 222」によるドリンク・軽食の販売。「青森サブカル倶楽部」のメンバーによるハンドメイド作品や絵画の販売、メンバー全員でのライブペインティングなどなど。柳町商店街のご協力もあり、アーケードは星型のねぶたや絵馬で彩られ、商店街は非常に密度の高いイベント空間となりました。かねてから親交のあった柳町商店街理事長の柴野様とは、「柳町通りでも楽しいことをしたいね」というお話を常々しておりました。エーパラとしても、商店街と一度がつぶり四つで企画してみたい。双方の想いが重なって、既存のイベント「Star light JAZZ」のステージをそのままに、その翌日のエーパラ開催が実現したのです。青空の下、エネルギッシュなステージイベントが繰り広げ

られていきました。日が沈むころ、イベントはその表情がガラリと変えます。大川平荒馬保存会による今別町の郷土芸能「荒馬」が会場を大いに盛り上げると、突如中央分離帯に現れた白塗りの6人。一日を締めくくるクロージングイベントの始まりです。舞踏家・福士正一氏率いる、舞踏ワークショップを受講したダンサーが、バンド[kikoenafuriwoshita]の音楽に身を委ね、時には逆らい、踊ります。ステージ前には6枚の大きなパネル。ダンサーがパネルの前で静止すると、青森サブカル倶楽部他複数の描き手が、ダンサーのアウトラインを描きとっていきます。そこから剥がれたダンサーは、来場者が作った星型絵馬を柳町のシンボル・カリヨン前に運び祈りを捧げ、描き手はダンサーのアウトラインに、それぞれのイメージを乗せて作品を描き上げました。1時間にも及ぶパフォーマンスに、道行く人も足を止め、その光景を見届けていました。A-Paradiseは、既存のコンテンツを楽しみつつ、それらを重ねたときの化学反応を、実験的に提供していくことをモットーにしています。2018秋は、A-Paradiseの「挑戦」を表現することができたのではないかと思います。

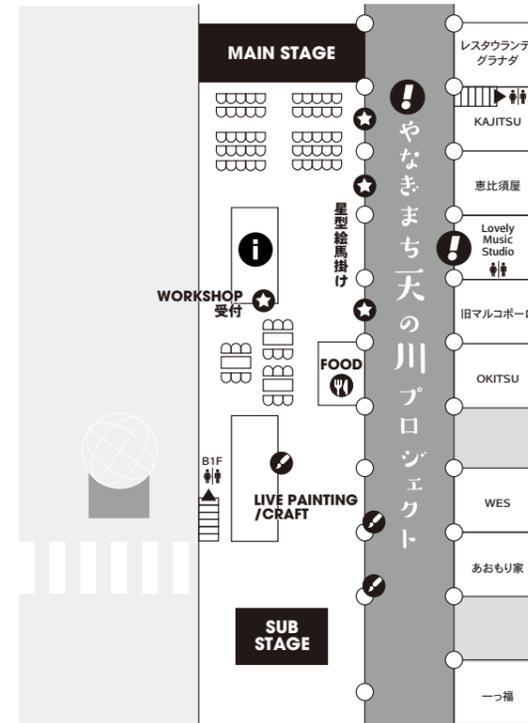
制作印刷物



design by 村井香穂 (PINTTO)

PLANNING

事前準備/会場プラン



今回の会場プランを考えるにあたりもっとも重視したのは「街あるき」のできる会場設計です。ステージを2箇所に分け、会場の端と端に設置し、その道中に星形のねぶたや、ワークショップ、ライブペイント、フードやクラフトの販売場所を配置することで、イベントを楽しんでいると自然に街を歩いている構成にしました。そうすることにより、普段あまり商店街に向く機会の少ないA-Paradise参加世代に対しても、柳町商店街にどんなお店があるのか知り、来店の機会を作るきっかけ作りを目指しました。そのことにより、場所が点在するためスタッフが一目でわかるようスタッフTシャツを準備し、事前にシルクスクリーンで自分たちで印刷し、今後のワークショップの可能性を探りました。また受付には大型の看板パネルなどを設置しました。また今回星形ねぶたを設置するにあたり、ワークショップを行っていただいた工藤友哉さんに引き続きご協力頂き、アーケードにワイヤーを渡し、電気を引き一つ一つのねぶたを輝かせることができました。それにより、夜間の道しるべとして星形ねぶたが商店街を彩りました。また星形ねぶたの設置を前日に行い、柳町商店街主催で開催される「Star light JAZZ」のイベント中に点灯することによって、A-Paradiseとのコラボレーションという形で関わる事ができ、また、当日の準備の工程を短縮することができました。

文・村井香穂



Workshop

事前ワークショップ

秋の「A-Paradise2018」を前に、夏に4つの事前ワークショップを行い、パフォーマンス作品・フリーペーパー・装飾物の制作など、「A-Paradise2018」当日に向けた準備を兼ねて、公募した参加者とともに楽しく学ぶ機会としました。

はぎれで衣装を作ろう!!ワークショップ

8.8 (wed) 13:00-16:00

- 📍 リンクステーションホール 青森
- 👥 6名
- 👤 青森中央文化専門学校 教諭 曾我武

布をハギレ化し、立体的に縫う技法を、曾我先生に教わりました。チューリップのような白い可憐な肌着+黒く重たい羽織は「A-Paradise2018」舞踏公演の衣装としてダンサーが身に着けて踊り、ワークショップ参加者はフィッティングのボランティアとしても活躍しました。



COSTUME

柳町通りの魅力を探そう!!

フリーペーパー作成ワークショップ

8.9 (thu)・10 (fri) 13:00-17:00

- 📍 柳町通り
- 👥 8名
- 👤 京都造形芸術大学 准教授 酒井洋輔

柳町通りの魅力を再発見するため、酒井先生と小学生からおとなまでが街歩きに参加。何気ない普段の風景も、視点を変えると町の魅力の一つになることに気づく機会となりました。AtoZにまとめた発見は、「A-Paradise2018」フリーペーパーとして来場者に配布されました。



FREEPAPER

DECORATION



まちを彩るねぶたの天の川を作ろう!ワークショップ

8.18 (sat)・19 (sun) 10:00-15:00

- 📍 青森市役所柳川庁舎
- 👥 40名
- 👤 造形作家 工藤友哉

ねぶた制作現場で実績を積んできた工藤先生によるワークショップには、2日間で40名が参加。小・中・高・大学生、おとなまで、幅広い世代が、紙貼りから色付けまでを楽しみました。作られた「星型ねぶた」約40個は「A-Paradise2018」開催会場に飾り付けられました。



PERFORMANCE



柳町通りを踊る。舞踏 (Butoh) ワークショップ

8.12 (sun)-9.1 (sat) ※全5回

- 📍 福士正一 道場 他
- 👥 8名
- 👤 福士正一

世界中で踊り続ける福士先生のもとに20~40代の参加者が集まり、全5回の稽古で身体の扱い方や空気感等を学びながら、公演の演出を受け、組み立てていきました。「A-Paradise2018」舞踏公演では、先生と共に堂々としたパフォーマンスを行ない観る者を圧倒しました。



PERFORMERS/EXHIBITERS

MAIN STAGE ARTISTS



スピリタス、Out Of Order、JET MOUSE、A-Paraバンド ~テーマソング演奏~、Broken Cadies、ANTI \$OCIAL FORCE\$, Beaming Chaplin、The Marshall、クドウ(流離こはく)、weak、大川平荒馬保存会

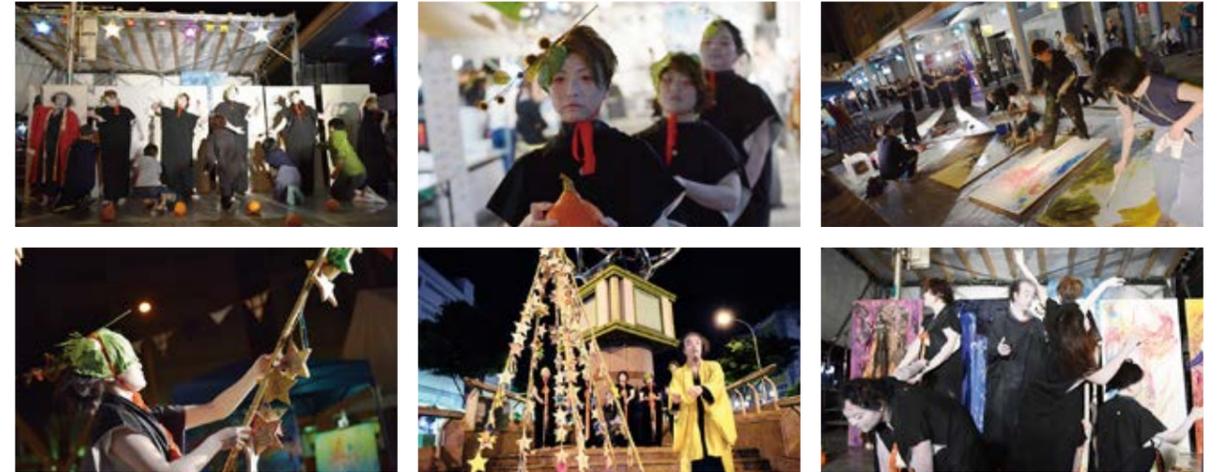
SUB STAGE ARTISTS



エイイチロウ、ヨコヤマサチコ、仲島圭佑、確原色、まえだっち、ユミチャラティ、DJ yassi(ANTI \$OCIAL FORCE\$)、DJ \$hun(Out Of Order)、DJ 凸凹堂

CLOSING PERFORMANCE

福士正一 × kikoenaifuriwoshita



イベントのフィナーレとして、「柳町通りを踊る。舞踏 (Butoh) ワークショップ」の参加者、福士正一氏とバンドkikoenaifuriwoshitaによるパフォーマンスが披露されました。ステージの端から端まで使用したパフォーマンス、ライブペイントへのアーティストとのコラボレーションや、星形絵馬を使ったパフォーマンスなどイベントを包括する圧巻のフィナーレとなり、最後の時間にも関わらず多くの来場者が息をのんでパフォーマンスに魅入られました。

LIVE PAINTS

算用子綺香、水谷、青森サブカル倶楽部



WORKSHOP

まちに願いを!星形絵馬に夢を描こうワークショップ、まちに落書きコーナー



ワークショップとして今回のイベントでは「まちに願いを!星形絵馬に夢を描こう」ワークショップを行いました。こちらはA-Paradiseが青森市の若者の夢を支援するイベントとして行われていることもあり、来場者に自分の夢を書いた絵馬を作成しペンや絵の具で自由に装飾してもらうことで自分の夢を再確認できればという主旨のもと、大人から子どもまでたくさんの夢が描かれました。また、掛けられた絵馬は未来のまたフィナーレのパフォーマンスでキーアイテムとして使用されました。また「まちに落書き」コーナーでは参加者自身がライブペイントができるよう柱に設置した白いキャンバスと水性インクのペンを使用しました。普段は絶対にできない街への落書きを大人から子どもまで多くの方に楽しんでいただけました。

EXHIBITIONS

Be on space 222、café oink、青森サブカル倶楽部





あおもり
アートカウンシル

A-Para 川柳

駅前
で
版画・漫画で
お茶
しない？

Paradise

平成 31年 2月9日 SAT → 11日 MON
青森市役所 駅前庁舎 1階 駅前スクエア(アウガ)
10:00~17:00 ※最終日 16:00まで

平成30年度 雪だ！灯りだ！芸術だ！あおもり冬のワンダーランド

「あおもりアートカウンシル」による冬のアートイベント 3本立て！

ものづくりカフェ

協力：国産芸術センター青森

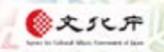
- ★**創作無料** 版画・漫画・川柳で、4コマ作品をつくらう！ コーヒーを飲みながら、レモネードもあるよ。
- ★**ライブペインティング**：駅前スクエアのガラス窓に、青森サブカル倶楽部など A-Paradise ゆかりのアーティスト達が描きます！
- ★2月9日(土)・10日(日)「cafe oink」(カフェ・オインク) が出店！

うそっこ星座のおはなし会 参加無料

- 1・2日目：星座をつくらう…黒い紙に自分だけの「オリジナル星座」をつくって投影します。
- 3日目：15:00～星座のおはなし朗読会…オリジナル星座から生まれたストーリーを朗読します。



主催：あおもりアートカウンシル
お問合せ先：あおもりアートカウンシル事務局 〒030-0812 青森市堤町1-4-1 リンクステーションホール青森内 tel:017-773-7304 (平日9:00~17:00) 休業3月曜を除く



design by 櫻モジロウ

冬のA-Paradise 2018

冬のA-Paradise 2018

イベント前日～当日

📅 2月9日(土)～11日(月・祝)

🕒 10:00～17:00 ※最終日16:00まで

📍 青森市役所駅前庁舎(アウガ)1階 駅前スクエア

👤 観客動員数 200名

秋が「動」なら冬は「静」。青森の寒い冬は、あたたかいコーヒーと芸術で。青森市役所駅前庁舎の一角、駅前スクエアで、その企みは形になりました。

1. ミニ版画ワークショップ

青森らしい芸術を考えたとき、真っ先に「版画」が挙がりました。言うまでもなく、青森市は世界に誇る板画家・棟方志功が生まれ育った地。小学校では美術の時間に版画を学びますが、卒業してしまうと版画に接する機会はぱったりと無くなってしまいます。それなら、気軽に版画を楽しめる場所を作ってみたらどうだろう?そんな考えから生まれたのが、約9cm角の版木です。事前に行った試作会では、下書きから刷り上がりまで1時間もあれば十分に楽しめることがわかりました。

あたたかい空間演出にはコーヒーが欠かせない。秋のエーパラでも出店していただいた「cafe oink」さんと、イベント出店限定で営業を行う「5m COFFEE」さんに日替わりで出店していただきました。当日は、コーヒーや焼菓子の香りに誘われて沢山のお客様が会場を訪れ、ついでに版画も!という、理想の光景を目にすることができました。

2. かまくらねぶた

冬と言えば雪、雪と言えば…かまくらなんていかがでしょう。ねぶたの技法を用いて、和紙と針金で三角形のパーツを作り、その組合わせで頑丈なドームを製作しました。本物のかまくらのように真っ白で、中に入ると隠れ家感があり、外から・中から楽しめる独特な作品が生まれました。



3. うそっこ星座をつくろう&おはなし会

秋のエーパラからの地続き感を演出するため、テーマの一つであった「星」をモチーフにした企画も立ち上げました。スタンドグラスの要領で、カラフルなセロハンと台紙で作成したオリジナルの星座作品を、かまくらねぶたの中にOHPで投影する「うそっこ星座をつくろう」。版画だと難しい小さなお子様にも、簡単な手順で楽しんでいただける企画となりました。また、その作品からインスピレーションを受けて物語を創作し、最終日にかまくらねぶたの中でおはなし会を催しました。別日に星座を製作してくれたご家族がいらしたり、その他小さいお子様にお集まりいただいたりと、楽しいひとときとなりました。

4. 総論

限られた空間を最大限に活用して、これもまた実にエーパラらしい企画となりました。来場者皆さまが気軽にアーティストになれる、新しい形の「カフェ」を提案できたのではないかと思います。

最大の収穫は、版画が好きな人が思いのほか沢山いらっしゃるということでした。版画文化が日常に溢れる日は、そう遠くはないのかも。

文・高谷 麗

制作印刷物



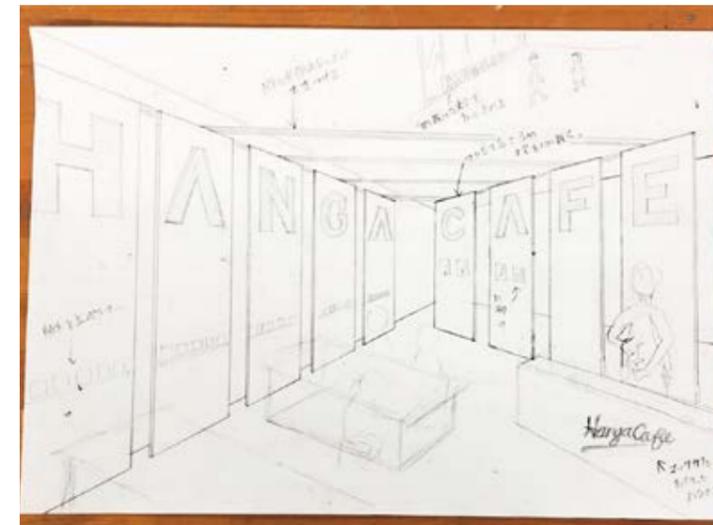
design by 村井香穂 (PINTTO)



design by 工藤麻衣

PLANNING

事前準備



「具現化すること」。

人は皆、楽しい事を想像していて、その楽しい想像が全部カタチにできたなら、きっと世界は楽しいと思う。

「お茶をしながら、ゆったり版画を彫れる空間ができれば楽しそう」。

今回、生まれた”楽しい”想像の「具現化」は、不安や課題を抱えながら始まった。

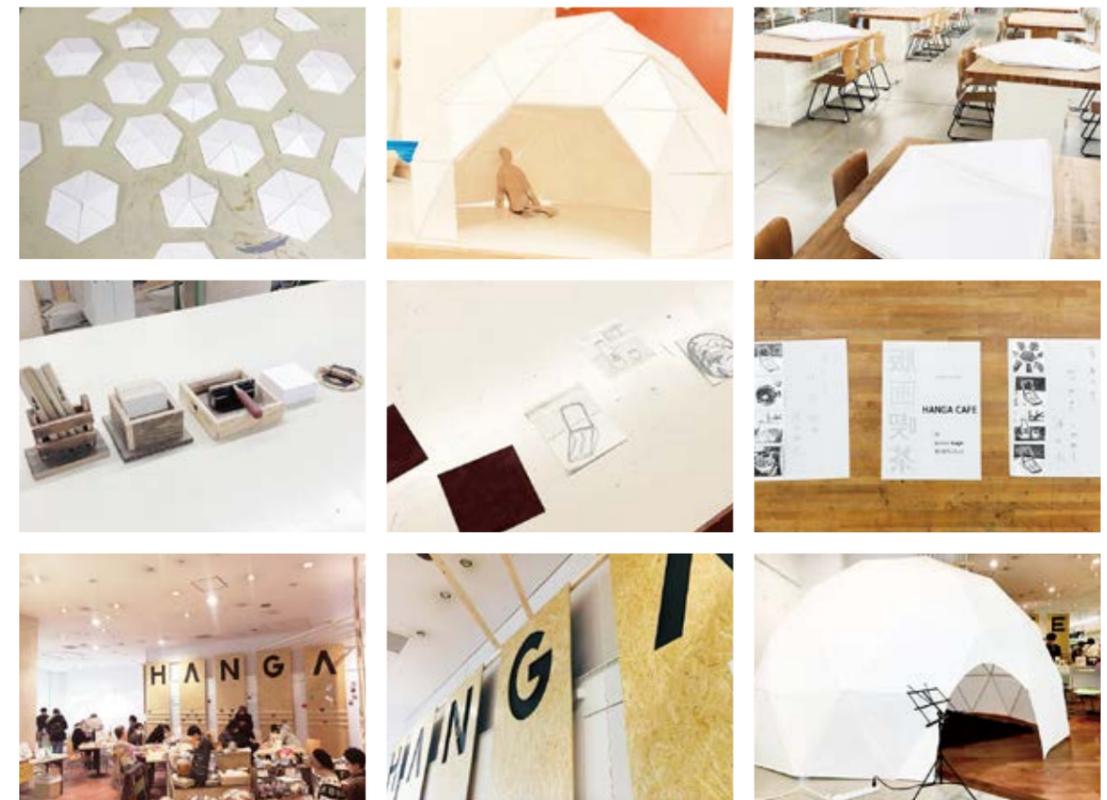
版画には”大変”や”汚れる”、”ダサイ”といったイメージがある。その大きな課題をクリアしなければならなかった。

自分はモノづくりをする時、いつも意識している事がある。それは「最小と最大」、「細部と全体」である。今回の「最小」は版木の大きさだった。手軽感を出す為、大きさは9cm角に決めた。「最小」が確定することで、版木台やロー

ラー台、刷り板の寸法、テーブルのサイズや数、スタッフの動き、会場の「最大」値が決まってくる。そして、イメージ「全体」を「版画」から「HANGA」へ変えた。これまで試みたことのない企画だからこそ「何をやっているのか」を一目で伝え、デザイン性を兼ねて、大きな板に「HANGA CAFE」と標した。

不安や課題を抱えての『冬のA-Paradise』だったが、共に作りあげるスタッフの気持ちという「細部」と、さらに大きな「全体」というエネルギーのおかげにより、結果、”楽しい”想像が「具現化」できたんだと思う。

文・田名瀬元



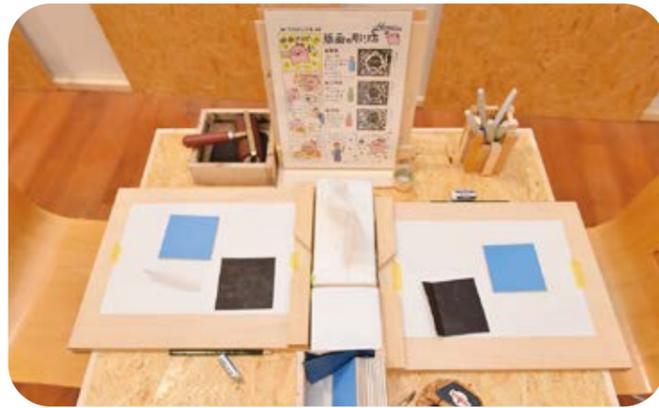
A-Paradise 2018 Winter

イベント当日



1 版画喫茶

駅前で版画を彫りながらお茶ができる新感覚の喫茶店をコンセプトに木版画のワークショップを開催。青森市では版画教育に力を入れているものの、久々に触る彫刻刀に懐かしむ大人。そして、まだ彫刻刀を触ったことのない子どもまで多くの方にお楽しみいただきました。また最終日にはSNSで見てご来場いただいた方も多く、たくさんの参加者より「またやってほしい」との声をいただきました。



版木のサイズは9cm角。小さな版木ですが、その中に大人も子どもも夢中になり自分ならではの世界観を表現していました。

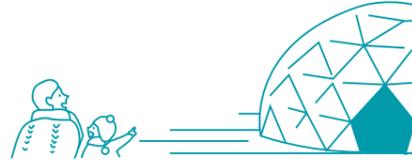


版画を用いて4コマ川柳を読むワークショップも同時開催。4コマや川柳を眺めて楽しむ来場者が多くみられました。



2 うそっこ星座のおはなし会

昨年9月に行われたA-Paradiseのテーマである「星」を、冬につなぐアート体験として開催。セロハンを台紙に貼り付け、オリジナルの星座を作成し、ねぶたかまくらにOHPで映し出しました。3日間で集まった星座を元に最終日には会長の高谷と青森サブカル倶楽部の佐世子風さんによる「うそっこ星座のおはなし会」が披露され、多くの子ども達が真剣にお話に耳を傾けました。



ねぶたかまくらは夏のワークショップで講師を務めていただいた工藤友哉さん監修のもと、ACACのスタッフによって作成していただきました。



「かまくらねぶた」に突如現れた
駅前スクエアに
その内側は、雪空。
真っ白な天球に、
きみが考えた星座を映そう。
さいごの日は、
みんなの星座から
お話を紡いで、
雪空の天体観測だ。



3 ライブペイント

夏のA-Paradiseでライブペイントをにに参加いただいた「青森サブカル倶楽部」さん「算用子純香」さん「水谷」さんに今度は駅前スクエアの巨大ガラスへのライブペイントを披露いただきました。最終日にはガラス一面が彩られ、来場者や市役所へ来た方など多くの方が足を止めてライブペイントに魅入られる光景がみられました。

4 カフェ出店

9日、10日は青森市松原に店舗を構える「cafe Oink」さん、11日は青森で出店限定で活躍する「5M COFFEE」さんにそれぞれ出店いただきました。カフェがあることで来場者が足を止めるきっかけとなり、またコーヒーやお菓子を食べながらじっくりと版画や星座作成などを楽しむことができました。





STAFF COLLABORATORS SPONSORS

スタッフ・協力・協賛

あおもりアーツカウンシル
A-Paradise 部会

部会長 高谷 憲

副部会長 福田 真紀

委員 エイチロウ
工藤麻衣
田名邊元
村井香穂

サポートスタッフ

金山勝 是川詩乃 齊藤悠真
算用子綺香 服部佳彦 水谷 and more...

協力 柳町商店街振興組合
国際芸術センター青森
青森サブカル倶楽部
工藤友哉
酒井洋輔
曾我武
竹林嘉子
福土正一

助成 平成 30 年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業

協賛 青森サブカル倶楽部 Be on space222 cafe oink
幌加内蕎麦と酒菜 穂ろ香 柳谷一哉 山谷悠地

主催 あおもりアーツカウンシル・青森市教育委員会

事務局 あおもりアーツカウンシル事務局
(一般財団法人 青森市文化スポーツ振興公社内)
TEL:017-773-7304

本事業を運営するにあたり、ご協力いただいた多くの皆様には心より感謝申し上げます。
ありがとうございました。

メンバー募集

一緒に
A-Paradise
を
つくりませんか？

A-Paradiseでは今後の活動に向け、
活動内容の決定や制作、ワークショップの運営などに関わり、
一緒にイベントを作り上げてくれる仲間を募集しています。
メンバーは演劇、バンド、アート、デザインなど
現役で活動するパフォーマーです！
学生さんも、未経験でも、大歓迎！
青森市でアートや音楽に関わりたいと思っている方、
輪を拡げたいと思っている方、ぜひ一度、覗きに来てみませんか？

応募先：あおもりアーツカウンシル事務局

〒030-0812 青森市堤町1-4-1リンクステーションホール青森内

TEL 017-773-7304 FAX 017-776-2066 E-MAIL artdeonjimukyoku@gmail.com

①お名前 ②年齢 ③連絡先 ④関わりたい領域
を明記のうえ、上記の連絡先までご連絡ください！ 応募、お待ちしております！